

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業407社を対象に実施し、266社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成25年1月～3月の実績、平成25年4月～6月の見込み、平成25年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成25年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	180	118	65.6%
非 製 造 業	227	148	65.2%
計	407	266	65.4%

日銀が5月14日に公表した、北陸の金融経済月報（2013年5月）によると、「北陸の景気は、持ち直しの動きがみられる。最終需要をみると、個人消費は下げ止まりつつある。住宅投資、設備投資は持ち直しているほか、公共投資は増加傾向を維持している。

当地の製造業の生産は、海外経済減速の影響が徐々に後退する中で、全体として増加している。業種別にみると、電気機械（含む電子部品・デバイス）が増加しているほか、医薬品を中心とする化学は高水準の生産を維持している。一般機械や金属製品、非鉄は持ち直しの動きがみられる。鉄鋼、繊維は横ばい圏内の動きとなっている。

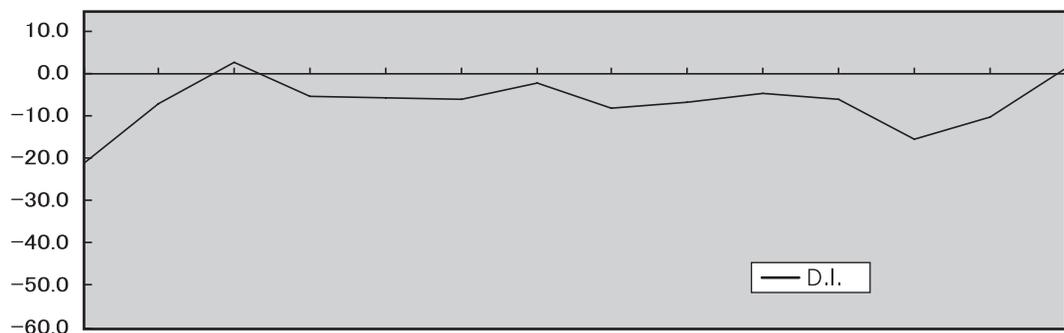
先行きについては、国内需要が持ち直していくとみられるほか、海外経済の成長率の高まりを背景に、緩やかな回復経路に復していくとみられる。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年				25 年			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良 い	11.1	16.2	20.8	17.5	19.4	15.4	17.9	15.1	14.3	14.7	15.7	10.4	7.4	12.5
普 通	56.8	60.5	61.1	59.5	55.4	63.2	61.8	61.6	64.6	65.8	62.5	63.7	75.1	76.3
悪 い	32.1	23.3	18.1	23.0	25.2	21.4	20.3	23.3	21.1	19.5	21.8	25.9	17.5	11.3
D . I .	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-2.4	-8.2	-6.8	-4.8	-6.1	-15.5	-10.1	1.2

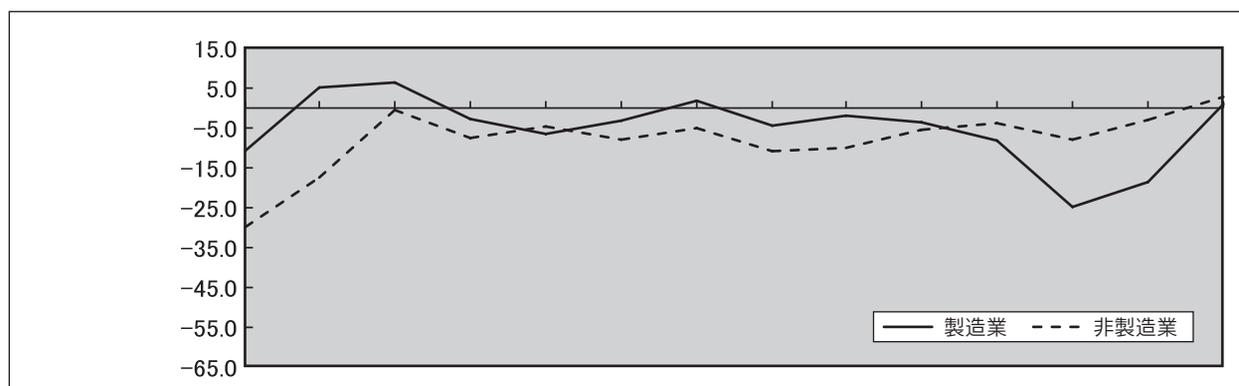


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）												見込	予測		
種別	期別	22 年			23 年			24 年				25 年					
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月		
良	い	17.7	24.3	27.0	20.3	20.8	17.1	21.6	19.4	16.2	15.3	13.6	6.2	6.3	12.5		
普	通	53.7	56.4	52.5	56.5	51.5	62.5	58.2	56.6	65.4	65.6	64.4	62.8	68.8	74.1		
悪	い	28.6	19.3	20.6	23.2	27.7	20.4	20.1	24.0	18.5	19.1	22.0	31.0	25.0	13.4		
D . I .		-10.9	5.0	6.4	-2.9	-6.9	-3.3	1.5	-4.7	-2.3	-3.8	-8.5	-24.8	-18.8	0.9		

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）												見込	予測		
種別	期別	22 年			23 年			24 年				25 年					
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月		
良	い	5.4	9.0	15.3	15.0	18.2	13.9	15.0	11.7	12.8	14.3	17.5	13.7	8.3	12.4		
普	通	59.5	64.1	68.8	62.1	58.7	63.9	64.7	65.6	64.0	65.8	60.8	64.4	80.0	77.9		
悪	い	35.1	26.9	15.9	22.9	23.1	22.3	20.4	22.7	23.2	19.9	21.7	21.9	11.7	9.7		
D . I .		-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-5.4	-11.0	-10.4	-5.6	-4.2	-8.2	-3.4	2.8		



- (1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の25年1～3月期実績は▲15.5と前期比9.4ポイント悪化した。先行きについて、25年4～6月期のD.I.は▲10.1、25年7～9月期のD.I.は1.2と改善予想となっている。平成22年4～6月の▲21.0以来の10%を超えるマイナスポイントとなった。しかし、先行きの7～9月にはプラスポイントの予想であり、改善していくみられる。
- (2) 業況判断指数D.I.の25年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より16.3ポイント悪化した。非製造業は前期より4.0ポイント悪化した。いずれもマイナスのポイントであり、悪いとの回答が高い状態となっている。先行きについては、製造業、非製造業とも改善予想となっている。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	34.5	43.3	32.8	39.4	35.8	33.9	36.5	30.0	33.5	26.3	28.4	22.3	22.9	25.3
横ばい	34.8	30.2	35.5	40.8	36.6	39.8	35.9	41.4	40.3	46.4	44.7	45.2	59.9	59.4
減少	30.7	25.5	21.7	19.9	27.7	26.3	27.5	28.6	26.3	27.3	26.9	32.6	17.1	15.3
D. I.	3.8	18.8	21.1	19.5	8.0	7.5	9.1	1.3	7.2	-1.0	1.5	-10.3	5.7	10.0

売上高状況（うち製造業のみ）

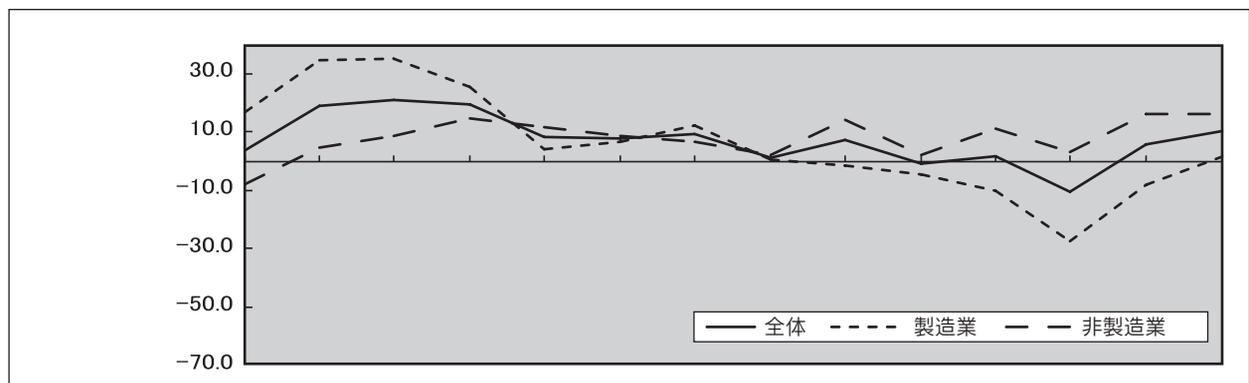
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	43.9	54.2	54.2	44.6	34.0	33.6	36.2	27.9	28.0	24.4	24.5	12.3	15.7	21.1
横ばい	29.1	26.1	26.8	36.0	35.9	39.5	39.9	45.0	42.6	46.6	40.7	48.2	60.9	59.6
減少	27.0	19.7	19.0	19.4	30.1	27.0	23.9	27.1	29.4	29.0	34.8	39.5	23.5	19.3
D. I.	16.9	34.5	35.2	25.2	3.9	6.6	12.3	0.8	-1.6	-4.6	-10.2	-27.2	-7.8	1.8

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	26.2	35.3	32.5	34.6	37.2	34.1	36.8	31.5	37.8	27.8	31.5	30.0	28.5	28.6
横ばい	39.9	34.0	43.3	45.1	37.2	40.1	32.7	38.7	38.4	46.3	47.9	42.9	59.2	59.2
減少	33.9	30.8	24.1	20.3	25.6	25.8	30.4	29.8	23.8	25.9	20.6	27.2	12.2	12.2
D. I.	-7.7	4.5	8.3	14.4	11.6	8.4	6.4	1.8	14.0	1.9	11.0	2.7	16.3	16.3



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は▲10.3となり、前期より11.8ポイント悪化の回答となった。先行きについては、25年7～9月期は改善し、プラスポイントの予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比17.0ポイント悪化、非製造業は8.3ポイント悪化となっている。製造業は減少の回答が高いマイナスポイントとなっている。先行きについては、製造業、非製造業とも改善予想となっている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

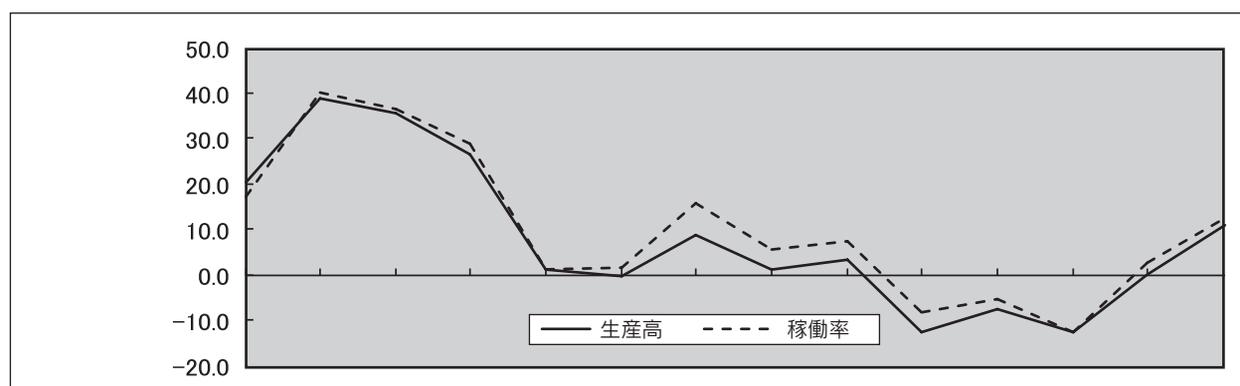
(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年				25 年			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
20%以上増加	19.4	19.9	20.0	16.9	11.9	6.7	6.5	6.1	5.6	4.7	5.1	0.9	1.8	1.8
20%未満増加	26.6	35.5	33.3	28.7	19.8	21.5	28.1	22.1	25.0	17.2	20.5	19.6	16.8	26.8
横ばい状況	28.1	28.4	28.9	35.3	37.6	43.0	39.6	44.3	41.9	43.8	41.0	46.4	62.8	53.6
20%未満減少	18.7	15.6	15.6	14.7	21.8	24.8	22.3	25.2	22.6	28.1	29.1	24.1	15.9	17.0
20%以上減少	7.2	0.7	2.2	4.4	8.9	4.0	3.6	2.3	4.8	6.3	4.3	8.9	2.7	0.9
D . I .	20.1	39.0	35.6	26.5	1.0	-0.7	8.6	0.8	3.2	-12.5	-7.7	-12.5	0.0	10.7

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年				25 年			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
上昇	21.4	22.3	19.4	19.1	12.1	5.6	7.4	6.4	4.9	5.7	6.1	0.9	0.9	0.9
やや上昇	22.1	31.7	34.3	25.0	19.2	20.1	29.6	21.6	25.2	13.9	10.2	17.9	20.4	29.5
横ばい	30.0	32.4	29.1	40.4	38.4	50.0	41.5	49.6	47.2	52.5	42.1	50.0	60.2	51.8
やや下降	18.6	11.5	15.7	11.8	20.2	19.4	18.5	19.2	19.5	22.1	27.2	23.2	16.8	17.0
下降	7.9	2.2	1.5	3.7	10.1	4.9	3.0	3.2	3.3	5.7	4.4	8.0	1.8	9.0
D . I .	17.1	40.3	36.6	28.7	1.0	1.4	15.6	5.6	7.3	-8.2	-5.3	-12.5	2.7	12.5



(1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は▲12.5となり、前期比4.8ポイント悪化した。先行きについては、改善予想となっている。7～9月期にはプラスポイントでD.I.10.7と予想している。

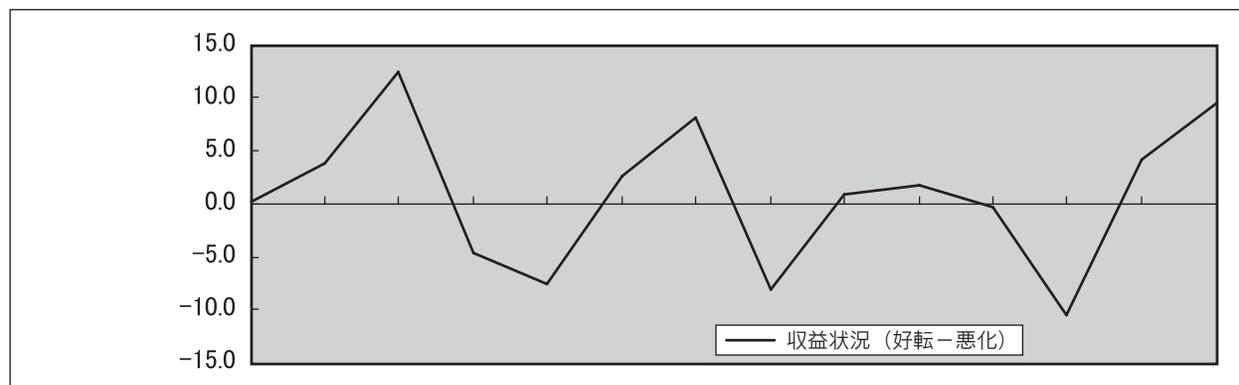
(2) 稼働率についても、売上高、生産高同様に今期は悪化となっている。しかし、先行きについては、改善予想となっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	21.1	20.9	27.3	20.2	19.8	24.8	26.4	17.0	19.5	19.7	20.8	15.8	17.7	18.0
横 ば い	57.7	61.8	57.9	54.8	52.7	53.0	55.3	57.7	61.6	62.2	58.1	57.9	68.8	73.3
悪 化	21.1	17.2	14.8	25.0	27.5	22.3	18.3	25.3	18.9	18.0	21.1	26.3	13.5	8.6
D . I .	0.0	3.7	12.5	-4.8	-7.7	2.5	8.0	-8.3	0.7	1.7	-0.4	-10.5	4.1	9.4



好転理由

(%) 見込 予測

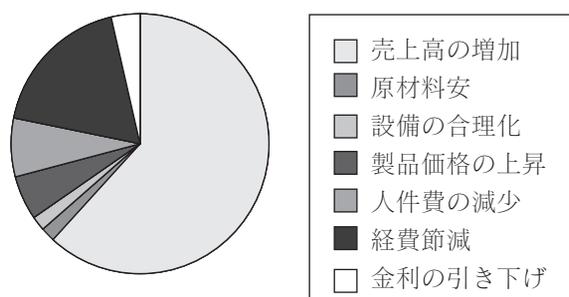
期別 種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の増加	62.5	64.4	73.6	69.2	60.0	76.0	73.5	66.2	67.6	64.4	70.8	61.8	70.5	76.4
原材料安	4.5	1.1	1.8	1.3	5.0	3.0	4.1	1.5	9.9	4.1	4.6	1.8	0.0	3.6
設備の合理化	2.3	5.6	0.9	5.1	6.7	2.0	1.0	0.0	0.0	1.4	3.1	1.8	4.9	1.8
製品価格の上昇	5.7	2.2	3.6	5.1	6.7	2.0	2.0	2.9	2.8	2.7	3.1	5.5	4.9	0.0
人件費の減少	9.1	7.8	4.5	2.6	5.0	3.0	3.1	4.4	2.8	6.8	0.0	7.3	3.3	0.0
経費節減	15.9	17.8	15.5	16.7	16.7	14.0	16.3	22.1	16.9	19.2	16.9	18.2	14.8	18.2
金利の引き下げ	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	1.5	3.6	1.6	0.0

悪化理由

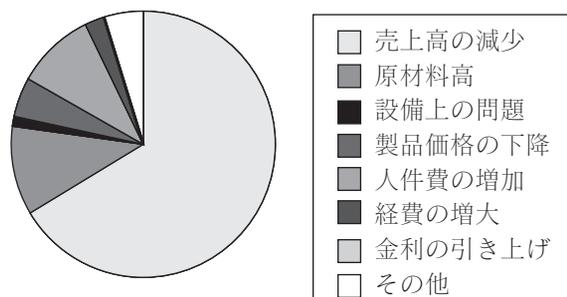
(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の減少	56.1	56.4	65.7	55.4	53.7	56.1	50.0	55.6	59.2	56.8	51.3	66.3	65.0	57.7
原材料高	13.2	7.7	8.6	13.4	14.7	11.2	18.3	14.8	17.1	13.5	10.3	10.8	10.0	11.5
設備上の問題	0.9	1.3	0.0	3.6	1.1	2.0	1.2	0.9	0.0	1.4	3.8	1.2	2.5	0.0
製品価格の下降	14.9	16.7	14.3	8.0	10.5	9.2	11.0	8.3	6.6	14.9	11.5	4.8	5.0	11.5
経費の増大	5.3	6.4	1.4	7.1	6.3	12.2	8.5	11.1	5.3	9.5	12.8	9.6	7.5	3.8
人件費の増加	7.0	6.4	7.1	4.5	6.3	5.1	4.9	2.8	6.6	2.7	2.6	2.4	5.0	3.8
金利の引き上げ	0.0	0.0	0.0	2.7	1.1	1.0	0.0	0.9	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	2.6	5.1	2.9	5.4	6.3	3.1	6.1	5.6	5.3	0.0	7.7	4.8	5.0	11.5

好転理由



悪化理由



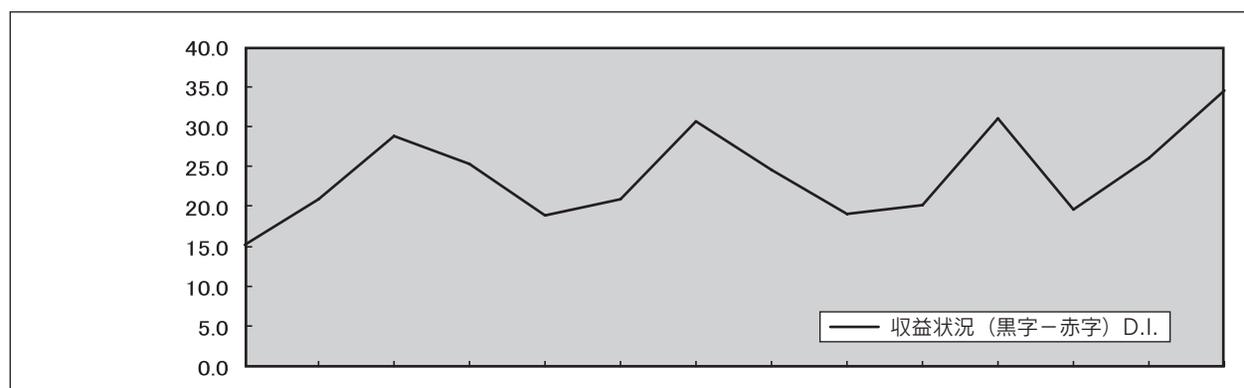
(1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比10.1ポイント悪化し、▲10.5となった。収益は、好転との回答が増えてきていたが、今回好転が減少し、悪化したとの回答が増加した。これによりD.I.はマイナス10ポイントまで下がった。

(2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」とするポイントが最も高いが、前期比9ポイント減少した。また、「原材料安」「設備の合理化」も減少となった。「人件費の減少」「製品価格の上昇」とする理由が増加した。

(3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」とするポイントが高く、前期比15ポイント増加している。先行きについては、「製品価格の下降」とするポイントが高くなっており、問題点となっている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別															
	22年			23年			24年			25年			見込			予測
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	(%)	
黒字	36.0	41.7	43.2	43.6	40.8	43.4	47.4	44.3	41.0	39.1	46.7	39.0	39.9	43.6		
収支トントン	43.3	37.6	42.5	38.1	37.2	34.2	35.9	36.0	36.9	41.9	37.7	41.7	46.1	47.5		
償却後赤字	20.7	20.7	14.3	18.3	22.0	22.5	16.8	19.7	22.1	19.0	15.6	19.3	14.0	8.9		
D.I.	15.3	21.0	28.9	25.3	18.8	20.9	30.6	24.6	19.0	20.1	31.1	19.7	26.0	34.6		



(4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は19.7となり、前期比11.4ポイント悪化となった。黒字とするポイントが減少、赤字とするポイントが増加となっている。しかし、先行きについてD.I.は34.6と改善予想となっている。赤字とする回答が、大幅に減少予想となっており、収益の改善が期待される。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不足	4.5	4.9	6.2	4.6	7.1	4.5	1.3	3.8	3.9	2.5	2.9	0.9	0.9	2.8
適正	87.2	87.8	84.8	87.1	80.2	87.1	90.4	87.4	89.3	91.5	92.3	91.5	94.8	92.9
過剰	8.3	7.3	9.1	8.3	12.6	8.3	8.3	8.8	6.9	5.9	4.8	7.5	4.2	4.2
D . I .	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0	-3.4	-1.9	-6.6	-3.3	-1.4

製品在庫水準（うち製造業のみ）

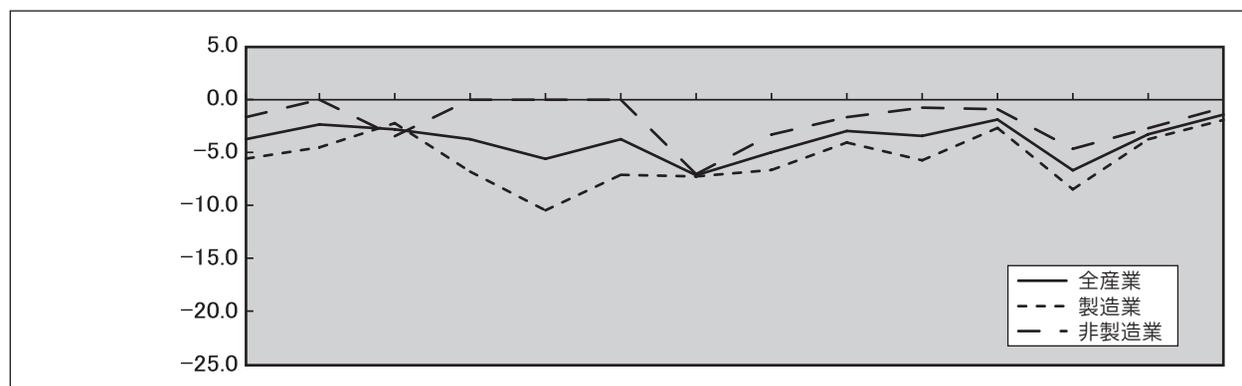
(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不足	5.5	5.2	7.8	4.5	6.3	4.3	1.6	4.1	2.5	1.6	2.8	1.9	0.9	2.8
適正	83.4	85.1	82.2	84.1	77.1	84.4	89.6	85.1	91.0	91.0	91.7	87.7	94.3	92.5
過剰	11.0	9.7	10.1	11.4	16.7	11.3	8.8	10.7	6.6	7.4	5.5	10.4	4.7	4.7
D . I .	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-7.2	-6.6	-4.1	-5.7	-2.8	-8.5	-3.8	-1.9

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不足	3.3	4.5	4.4	4.6	8.1	4.9	0.9	3.4	5.4	3.5	3.0	0.0	0.9	2.8
適正	91.7	91.0	87.7	90.7	83.7	90.2	91.3	89.7	87.4	92.1	93.0	95.3	95.3	93.4
過剰	5.0	4.5	7.9	4.6	8.1	4.9	7.8	6.8	7.2	4.4	4.0	4.7	3.7	3.8
D . I .	-1.7	0.0	-3.5	0.0	0.0	0.0	-7.0	-3.4	-1.8	-0.9	-1.0	-4.7	-2.8	-0.9



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、25年1~3月期は▲6.6となり、前期比4.7ポイント悪化となった。在庫過剰状況である。先行きについても、25年7~9月期は▲1.4であり、在庫過剰が続く予想である。
- (2) 業種別では、製造業のD.I.▲8.1となり、前期比5.7ポイント悪化となった。非製造業も前期より、過剰の回答なった。先行きについては、製造業、非製造業とも、過剰ポイントは減少していく予想である。

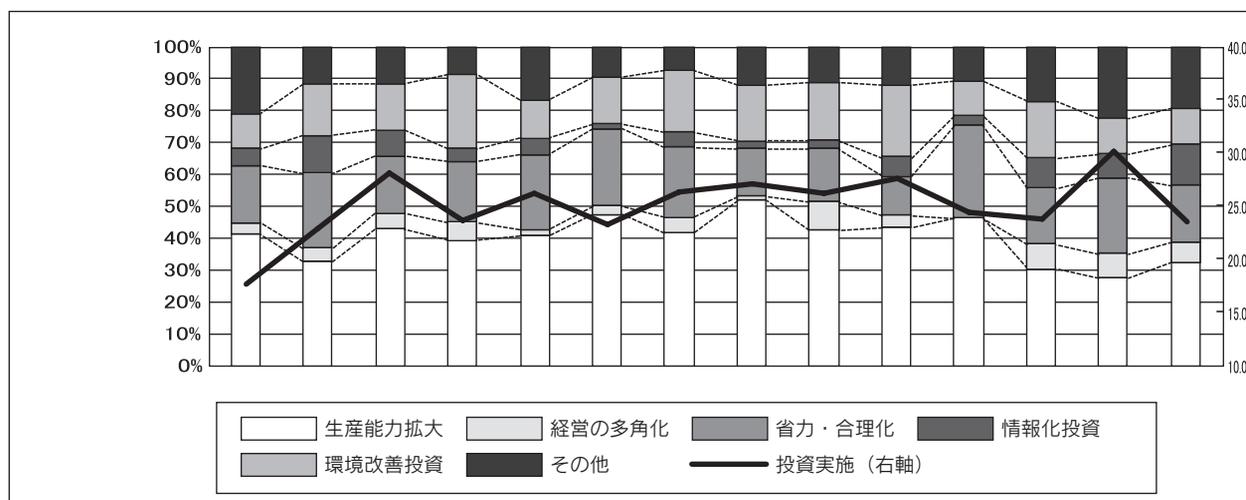
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

		(%)															見込	予測
種別	期別	22年			23年			24年			25年							
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月			
投資実施		17.7	22.8	28.1	23.6	26.1	23.2	26.3	27.0	26.2	27.6	24.4	23.7	30.2	23.4			
投資せず		82.3	77.2	71.9	76.4	73.9	76.8	73.7	73.0	73.8	72.4	75.6	76.3	69.8	76.6			

設備投資の目的（実施先について）

	(%)														
生産能力拡大	41.1	32.4	42.9	39.1	40.7	47.3	41.5	51.9	42.3	43.2	46.2	30.2	27.5	32.3	
経営の多角化	3.6	4.4	4.8	5.8	1.7	2.7	4.9	1.2	9.0	3.7	0.0	7.9	7.5	6.5	
省力・合理化	17.9	23.5	17.9	18.8	23.7	24.3	22.0	14.8	16.7	12.3	29.2	17.5	23.8	17.7	
情報化投資	5.4	11.8	8.3	4.3	5.1	1.4	4.9	2.5	2.6	6.2	3.1	9.5	7.5	12.9	
環境改善投資	10.7	16.2	14.3	23.2	11.9	14.9	19.5	17.3	17.9	22.2	10.8	17.5	11.3	11.3	
その他	21.4	11.8	11.9	8.7	16.9	9.5	7.3	12.3	11.5	12.3	10.8	17.5	22.5	19.4	



(1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の23.7%と、前期比0.7ポイント減少した。先行きについては、増加予想であり、4~6月期では30.2%の企業が設備見込となっている。実施の目的別では、前期に比べ「経営の多角化」「環境改善投資」とするポイントが大きく増加した。

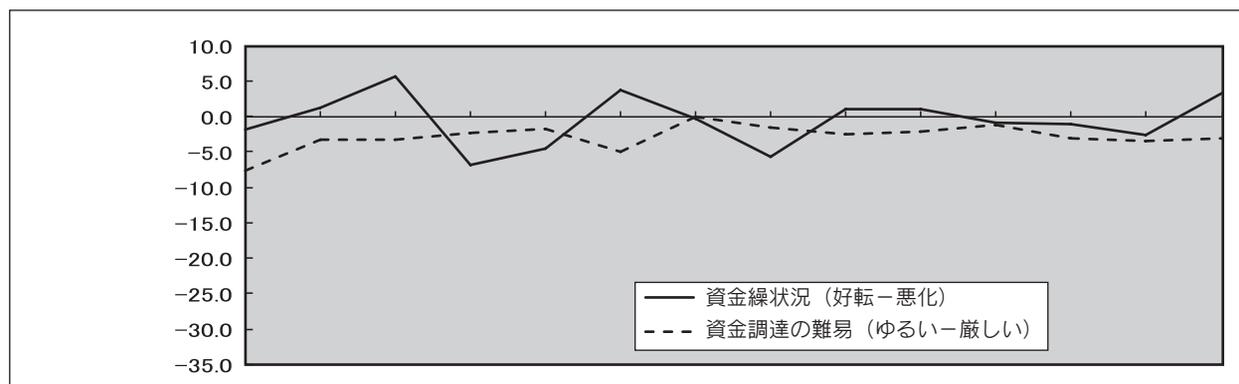
(2) 業種別の、製造業では「医薬品製造」「アルミ製品」「金属製品製造」「プラスチック」が設備をおこなっている。非製造業では、「百貨店スーパー小売」「宿泊業」「運送業」のポイントが増加した。先行きについては、製造業では「電子部品製造」、非製造業は「医療福祉」の設備実施予定のポイントが高い。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
好転	10.1	9.8	13.7	5.5	11.5	10.0	9.9	7.0	11.8	10.9	9.5	8.6	7.2	8.3
変わらず	77.9	81.8	78.3	82.2	72.6	83.8	79.8	80.3	77.4	79.3	80.3	81.6	83.0	86.8
悪化	12.0	8.4	8.0	12.3	15.9	6.2	10.3	12.7	10.8	9.9	10.2	9.8	9.8	4.9
D . I .	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-0.8	-1.1	-2.6	3.4



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
ゆるい	10.2	9.6	9.9	12.1	11.8	10.1	12.6	12.5	12.3	10.8	11.3	11.7	10.2	9.4
厳しくない	72.1	77.3	76.9	73.4	74.7	74.8	74.8	73.3	73.0	76.3	76.3	73.4	76.1	78.0
厳しい	17.8	13.1	13.3	14.5	13.6	15.1	12.6	14.2	14.7	12.9	12.5	14.8	13.7	12.6
D . I .	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	0.0	-1.7	-2.5	-2.1	-1.2	-3.1	-3.5	-3.1

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、▲1.1と前期比0.3ポイント悪化となった。

資金繰り状況は、前期より悪化とするポイントが高い状況となっている。4～6月期も、悪化とするポイントが高く、なっているが、7～9月期は好転するとのポイントが高くなり、改善の予想となっている。

(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲3.1となり、前期より1.9ポイント悪化した。先行きについても、25年4～6月期は▲3.5、7～9月期は▲3.1と厳しいとの予想である。

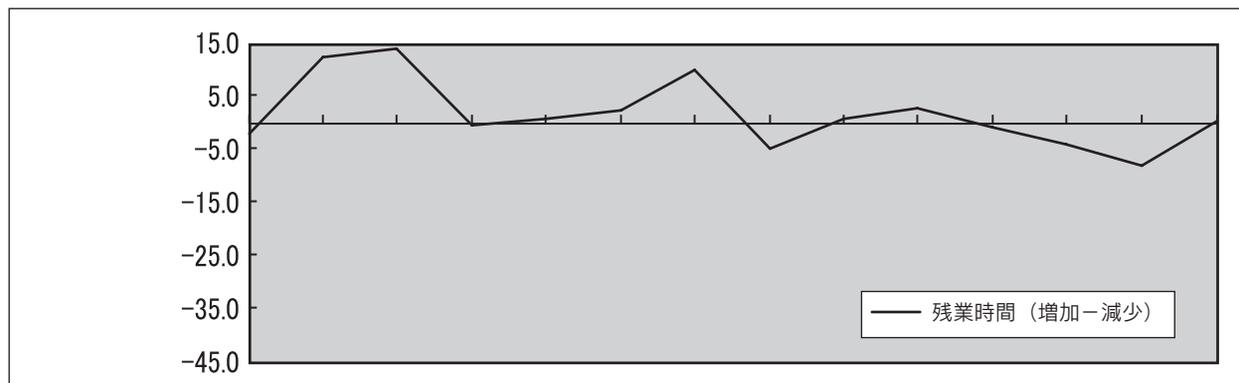
厳しいとのポイントが高い主な業種は、製造業では「繊維」が最も高く、非製造業では「不動産業」となっている。

Ⅷ. 労務事情

残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	19.0	22.4	24.6	17.4	20.0	16.9	20.1	14.8	12.7	13.3	12.7	12.0	7.9	10.5
横ばい	60.0	67.2	64.8	64.9	60.5	68.5	69.7	65.5	75.4	76.0	73.7	71.8	76.3	79.5
減少	21.0	10.3	10.6	17.7	19.5	14.6	10.2	19.7	11.9	10.6	13.6	16.2	15.8	10.0
D . I .	-2.1	12.1	14.1	-0.4	0.5	2.4	9.9	-4.9	0.8	2.7	-0.8	-4.1	-7.9	0.4

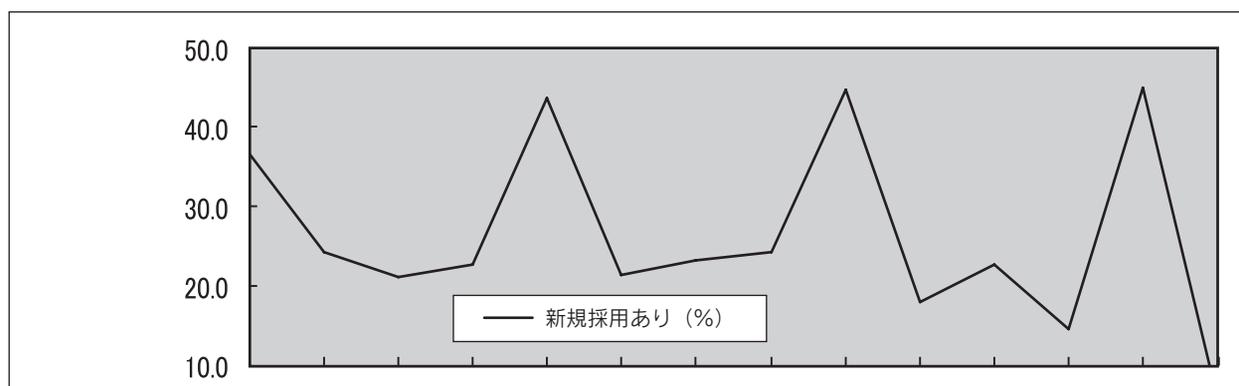


- (1) 残業時間D.I.は25年1～3月期▲4.1となり、前期比3.3ポイント減少した。残業時間は、10～12月期から減少してきている。先行きについては、4～6月は減少予想であるが、7～9月は増加すると予想している。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年			23 年			24 年			25 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
全産業	36.5	24.1	20.9	22.6	43.7	21.3	22.9	24.0	44.6	17.7	22.6	14.3	45.1	4.9
(うち製造業)	34.5	31.9	22.5	25.9	42.2	17.6	18.6	20.0	48.9	17.6	16.1	13.6	46.6	3.4
(うち非製造業)	38.3	17.0	19.5	19.6	45.0	24.6	26.5	27.1	41.3	17.8	27.9	14.9	43.9	6.1

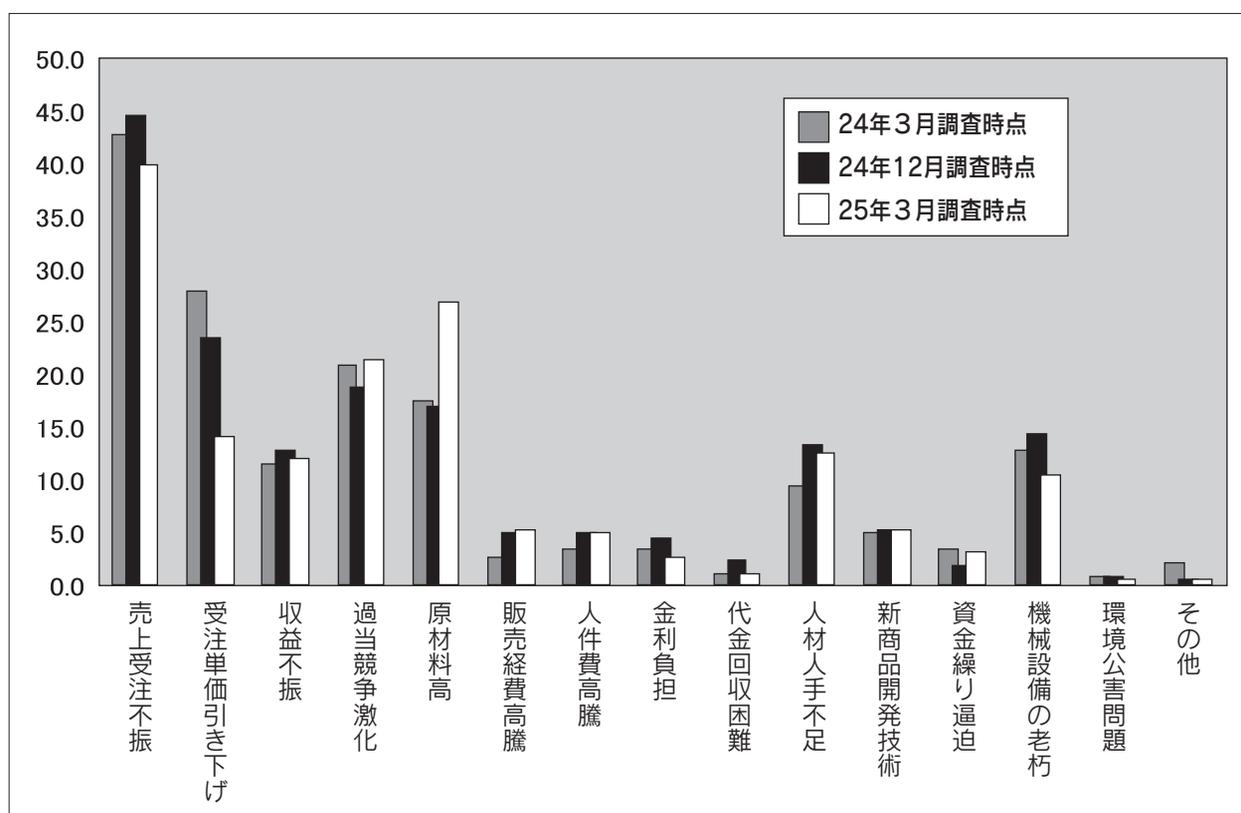


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の14.3%が新規採用を行った。前年同期に比べ約10ポイント減少となった。先行きについては、4～6月期は45.1%と前年同期並みのポイントとなっている。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	24年3月 (前年同期)	24年12月 (前回)	25年3月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	42.7	44.4	39.8	(52.5)	(29.7)	-4.6
受注単価引き下げ	27.7	23.3	13.9	(15.3)	(12.8)	-9.4
収益不振	11.3	12.8	12.0	(11.0)	(12.8)	-0.8
過当競争激化	20.7	18.8	21.4	(15.3)	(26.4)	2.6
原材料高	17.3	16.9	26.7	(28.0)	(25.7)	9.8
販売経費高騰	2.7	4.9	5.3	(0.8)	(8.8)	0.4
人件費高騰	3.3	4.9	4.9	(0.8)	(8.1)	0.0
金利負担	3.3	4.5	2.6	(1.7)	(3.4)	-1.9
代金回収困難	1.0	2.3	1.1	(0.8)	(1.4)	-1.2
人材人手不足	9.3	13.2	12.4	(5.1)	(18.2)	-0.8
新商品開発技術	5.0	5.3	5.3	(9.3)	(2.0)	0.0
資金繰り逼迫	3.3	1.9	3.0	(2.5)	(3.4)	1.1
機械設備の老朽	12.7	14.3	10.5	(8.5)	(12.2)	-3.8
環境公害問題	0.7	0.8	0.4	(0.8)	(0.0)	-0.4
その他	2.0	0.4	0.4	(0.0)	(0.7)	0.0



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振39.8%(前期比▲4.6ポイント)、②原材料高26.7%(前期比+9.8ポイント)、③過当競争激化21.4%(前期比+2.6ポイント)の順になっている。
- 「原材料高」とするポイントが、大幅増加している。また、「過当競争激化」も増加した。「受注単価引下げ」は9.4ポイント減少した。
- 問題点の「原材料高」のポイントが高い業種は、製造業では「木材業」「アルミ製品」「プラスチック」となっている。非製造業では、「運送業」が高い。「過当競争激化」を問題点とする企業は非製造業に多く、「鋼材建材販売」「機械工具販売」が高いポイントとなっている。

X. 為替変動に対する影響

項 目		見込			予測 (%)	
		24年7~9月	24年10~12月	25年1~3月	25年4~6月	25年7月~9月
売上高	好 転	0.4	1.8	0.5	4.1	3.2
	悪 化	8.5	5.3	5.6	4.1	4.2
	影響なし	91.1	93.0	93.9	91.7	92.6
仕入高	好 転	1.6	2.3	1.9	2.4	2.4
	悪 化	5.7	5.0	1.0	16.0	14.2
	影響なし	92.7	92.8	85.1	81.6	83.4
営業利益	好 転	0.8	2.7	0.9	1.9	1.4
	悪 化	8.5	6.7	9.3	11.3	10.0
	影響なし	90.7	90.7	89.7	86.8	88.6

- (1) 円高に対する影響について回答を求めている。見込、予測については、前期に比べた予想について回答を求めた。今回215社からの回答があり、1~3月では、売上高については6.1%から影響があると回答があった。売上高が悪化したとの回答は5.6%で、前期比0.3ポイント増加した。
- (2) 仕入高については、2.9%が影響ありと回答。うち1.0%が悪化したと回答であった。好転したとの回答は、1.9%となり、前期より減少した。営業利益では、10.2%が影響があるとし、9.3%が悪化したと回答している。
- (3) 先行きについては、売上高に対しては影響あるとのポイントは変化が少ない。仕入高に対しては、影響ありとする企業が増加しており、悪化とするポイントが高くなっている。営業利益も悪化のポイントが増加する予想となっている。